

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校		
○保護者評価実施期間	6年 11月 18日		6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 58
○従業者評価実施期間	6年 11月 15日		6年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	固定化されていない活動プログラム	苦手な学習にも楽しく繰り返し取り組むことができるよう、複数の指導員が関わり、支援内容を固定化せず、様々な活動を提示している。授業進度を確認し、提供課題を更新している。	職員間で情報共有を密に行い、授業進度や得意不得意なことについて担当指導員が把握することでより良い支援の提供を行っていく。
2	自己決定の機会の提供	取り組む内容について選択肢を設ける等、様々な場面で自己決定の経験ができるよう支援している。	活動中の様々な場面で選択する機会をより意識的に設けることで、自己決定の機会を提供していく。
3	保護者様との繋がり	保護者様からご相談いただき対応することもあれば、学校や生活の状況から必要性を感じてお声がけさせていただくこともある。指導員間で話し合いながら適切な助言を行えるようにしている。	今年度新設された子育てサポート加算や家族支援加算も活用しながら、保護者様の不安や困り感に寄り添っていく。研修等から情報の収集や知識を深め、より適切な相談援助を行えるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	担当間における支援の様子の共有	シフト制の勤務であることもあり、支援についての状況を口頭では詳しく共有できず、支援記録や実施教材等での共有になることがある。	毎支援での気付きを共有する時間を各職員が意識して設定していく。支援担当者が支援の様子について要点をつかむことでスムーズな引き継ぎができるようにしていく。
2	各種マニュアルの有無や避難訓練実施状況の周知	全てのマニュアルが策定されているのか、訓練が実施されているのかがわかりづらい。	現在カウンター席にマニュアル冊子の設置、壁面に訓練報告書の掲示をしているが、より目に付きやすい場所、手に取りやすい場所への設置を検討していく。また、来所の機会が少ない保護者様への周知の仕方も検討していく。
3	支援ブースの清潔感	支援コマが続いていると、机上に消しゴムのカス等のゴミがそのままになっていたり、床に制作で使ったものの破片が落ちていることがある。	清潔な空間での支援を提供できるよう、次の支援コマにうつる際に支援ブースが清潔であるかの確認を行う。必要に応じて支援中に出たゴミの処理を児童と一緒にいく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校
------	-----------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

58

回収数

58

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	49	8	1	0	スペースは広いとは言えない。 小さい子どもにはもう少し広い方が良いと思う。 身体を使った遊びをする時、もう少し広い、天井 が高いといいなと思います。	必要に応じて机やパーテーションの移動をし、可能 な限りスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	58	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	51	6	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	57	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	57	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	57	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	58	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	58	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	58	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	52	2	0	4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	7	11	24		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	58	0	0	0	事業所に対してではなく、国の制度について意見を述べる手段を設けて欲しいです。	ご利用者様からのご意見として、行政にお伝えさせていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	58	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	7	2	10		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	58	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	57	1	0	0	こちらからご相談させていただいた際に色々とお話をきかせていただいています。ありがとうございます。節目節目で相談のって頂いてとても助かっています。悩みや困り事等を相談でき、親身になってアドバイスをいつもいただけて、とても助かっていま	これからも不安やお悩みに寄り添っていきます。どんな小さなことでもお聞かせください。より良い助言ができるよう、研修や職員間での情報共有等から、知識習得に努めていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	58	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	12	10	20		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	57	0	0	1	支援学校へ進むか悩んでいるところです。何度も相談させて頂いて、親身になって対応して頂き感謝です。	進路についても、引き続きご相談ください。正しい情報の提供ができるよう、情報の収集に努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	57	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	53	0	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	4	2	5	全てのマニュアルが策定・訓練されているか不明。	教室内に訓練の様子を掲示しています。マニュアルについては、カウンターに冊子を設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45	3	0	10	訓練しているか分からない。	教室内に訓練の様子を掲示しています。訓練にご協力いただくこととございますので、その際にはよろしくお願いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	54	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	45	7	0	6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	58	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	56	2	0	0	楽しく通わせて頂いています。いつもありがとうございます。学校や学童は行きたくないと言いますが、クラスミは行きたくないと言ったことはなく、いつも楽しみにしています。毎週楽しく通っています。学校でのこと等、私が知らないことを先生からお聞きすることもあり、安心しているのだなと感じております。もっと行きたいと子どもが言う位、通所を楽しみにしています。	温かい言葉ありがとうございます。これからもご利用者が安心して通所でき、居心地の良い場所となるよう、信頼関係の構築に努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	57	1	0	0	いつもきめ細かな温かい支援をいただきまして、ありがとうございます。本人の困り事に対して親身に相談にのってくださり、また親の話も丁寧に聞いてくださるので、親子共々助けただけでおります。いつもありがとうございます。通所し、勉強したりコミュニケーションの支援をして頂いたおかげで明るくなったので、これからもお願いします。	温かい言葉ありがとうございます。楽しく通所できるよう活動プログラムを工夫していきます。また、その日のご利用者様の体調や心情に合わせて、活動プログラムを臨機応変に変更していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		発達利用者様と放デイご利用者様が同じ空間で支援を受けることもあるが、各々が集中できるよう、可能な限りの環境調整を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	支援ブースは特性に合わせた環境調整をしやすい。	入口に段差があり、バリアフリー化はされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	清潔な環境であるよう、定期的な掃除の他、汚れに気付いたときには都度対応している。	机上に消しゴムのカスや工作で使ったものの破片等がそのままになっていることがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		音や周囲の状況が気になる方は個室で支援を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		その日の振り返りや様子を職員間で共有することができる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様にも協力をいただき意見を頂戴して、支援に活かすことができる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で気づいたことはその都度意見を出し検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者からの評価を受ける機会は少ない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		本部主催の研修だけでなく、エリアやブロック内での研修に参加している。グループワークを行うことで場に応じた対応ができるような機会が持たれている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	次年度より対応予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画をもとにプログラムを考えている。また、そのプログラム内容と目的は保護者様に支援後にお伝えしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの立案について、不安なことがあった際には、その場ですぐに話し合いができています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		苦手な学習にも楽しく繰り返し取り組むことができるよう、複数の指導員が関わり、支援内容を固定化せず、様々な活動を提示している。授業進度を確認し、提供課題を更新している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別療育のあとに、同時間の他児と関わる機会を設けているケースもある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>		始業開始時間からの支援では打ち合わせができていないことがある。必要なケースのみ打ち合わせをしていることが多い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		<input type="radio"/>		その日のうちには難しく、別日で振り返りの機会を設けている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		<input type="radio"/>		地域交流の機会の提供ができていないケースが多い。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			取り組み内容について選択肢を設ける等、様々な選択の場面で自己決定の経験ができるよう支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			必要に応じて、学校とも連携をとっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		<input type="radio"/>		就学前の園と直接連絡を取ることはなく、相談支援事業所や保護者様からの情報提供のみとなっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		施設内だけの関わりに限られているため、必要に応じて機会を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			支援見学をしていただき、様子について保護者様と共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からご相談いただき対応することもあれば、学校や生活の状況から必要性を感じてお声がけさせていただくこともある。指導員間で話し合いながら適切な助言を行えるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		ご利用者様にも参加をお願いし、避難訓練を定期的実施している。非常時について、職員間でも日頃から確認を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬状況の確認を随時行っている。てんかんの発作があった時には詳細を教えていただく等の対応をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事・おやつ提供なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所内外の確認を行い、気を付けることや整備すべきことを確認、対応している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険な場所や行動があった際には、全体での共有、対策を行う機会を設け、改善に向けて対応している。また、他事業所でのヒヤリハットも確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				